

注意!!

ウメ・モモ・スモモの重要害虫

クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリとは？

- ・ウメ・モモ・スモモ・サクラなどの樹木内部を食い荒らし、放置すると枯死させる害虫です。
- ・対策をしないと増殖し、果樹園の内外にどんどん広がっていきます。
- ・令和元年に奈良県への侵入を確認してから、発生地域が拡大しています。

被害を防ぐために

- ・食入されてしまうと対策が困難です。産卵防止のために、成虫に効果のある殺虫剤の予防散布から始めましょう。
- ・被害を見つけたら、必ず千枚通しや針金でフラス(木くずと糞の混じったもの)をかき出して捕殺するか、登録のあるスプレー剤を注入しましょう。



提供: 埼玉県環境科学国際センター



提供: 埼玉県環境科学国際センター

- ・成虫は光沢のある黒色で胸部が赤い
- ・体長は2.5cm～4cm
- ・活動時期は5月末～8月末

- ・幼虫は黄色みがかった白色
- ・頭部の後ろにある胸部に3対の胸脚がある



食害跡

幹に潜む幼虫



提供: 埼玉県環境科学国際センター

- ・被害樹種はウメ、モモ、スモモなどのサクラ属
- ・フラスの排出時期は4月末～10月末

- ・うどん状のフラスが大量に排出される

裏面もあります

対策の考え方

第1段階 発生直前

- ・地域内や近隣で発生
- ・園内では未発生

第2段階 発生開始

- ・園内で発生開始
- ・フラスはまだ少ない

第3段階 多発

- ・園内で多発
- ・大量のフラス排出

薬剤の予防散布

幼虫の捕殺
スプレー剤

ネット被覆

伐採

※クビアカツヤカミキリは特定外来生物に指定されているので、伐採木は直ちに焼却するか粉碎します。運搬の際は、シートを被せるなど逸出防止措置が必要です。

ここで止めよう！

被害が増えてしまったら・・・

- ・大量のフラスが出た樹はやがて枯れてしまいます。被害が広がらないように伐採するしかありません。
- ・直ちに伐採できない場合は、分散防止のために防虫ネットを被覆します。

クビアカツヤカミキリに適用のある主な農薬

(令和3年4月27日時点)

- ・農薬を使用する際はラベルに記載されている使用方法や注意事項を必ず守り、毒物・劇物の使用には特に注意しましょう。
- ・農薬散布は事前に近隣住民や土地の所有者に知らせるとともに、周囲の農作物などに飛散させないように気をつけましょう。

薬剤名	ウメ	モモ	スモモ
スプレー剤(樹の中の幼虫に効く剤)			
ロビンフッド	○	○	○
散布剤(成虫に効く剤)			
モスピラン顆粒水溶剤	○	○	○
スプラサイド水和剤	○	○	○
オリオン水和剤40	○	○	○ 小粒核果類 で登録有り
アクタラ顆粒水溶剤	○	○	○ 小粒核果類 で登録有り
ダントツ水溶剤	○	○	×
テツパン液剤	×	○	○

農地でクビアカツヤカミキリを発見したときの連絡・相談先

問い合わせ先	電話番号	管轄
北部農業振興事務所 農業振興課	0743-51-0372	奈良市、大和郡山市、天理市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町
中部農林振興事務所 農業振興課	0744-48-3082	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、香芝市、葛城市、川西町、三宅町、田原本町、高取町、明日香村、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
東部農林振興事務所 農業振興課	0745-82-3248	宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村
南部農林振興事務所 農業振興課	0747-24-0131	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村
病虫害防除所	0744-47-4481	